町政を問う

「スポーツ振興審議会」を設置し、スポーツ振興を！「土曜学習塾」で基礎学力の　よりレベルアップを！

勝部　俊徳

小学校の耐震改修は？

教育長　みなさんの意見を聴きながら取組む

勝部　小学校の耐震改修の考え方は。

教育長　岸小はブレイス工法、八郷小は、三階カット…みなさんの意見を聴きながら取組む。

スポーツ振興審議会の設置を！

勝部　スポーツ振興法に基づく「スポーツ振興審議会の設置をする考えはないか。

教育長　設置は、条例事項であり、他の市町村や町内の関係者の意見を伺いながら検討したい。

スポーツでイキイキと～！

子どもの個性を伸ばし、地域に開かれた学校づくりについて

教育長　伯耆町学校教育のめざす指針は、「確かな学力と人間力の育成をテーマ」としている。

基本理念は、「社会の一員として自立して生きていく児童生徒の育成」を掲げている。

教員の指導力の向上も大切である。

開かれた学校については、

①学校支援本部(三年目)と三百人以上のボランティアの支援を頂いた活動。

②岸小と八小をコミュニティスクールに指定。

地域の教育力を生かした学校へ。

③学校公開日や学校巡りのバスなども実施し、開かれた学校づくりに取り組む。

土曜学習教室

勝部　中学生を対象とした土曜学習教室(国・数・英・月一～二回)を開催する考えはないか。

教育長　土曜日は、部活やスポ少の活動日でもあり、難しい面もある。

普段の課業日を充実させることが先である。

教育委員会と町長部局などとの意思疎通を！

勝部　「教育委員会」と「町長部局、学校」などとの意思疎通の図り方は。

教育長　毎月の定例の教育委員会を各公民館や文化センターなどを「持ち回り開催」して、みなさんと話す機会を増やしたり町長部局ともよく意見交換する場を設けていきたい。

地形や風向きを考慮した原発対応を県などに求めるべき！

町長　県にも、モニタリングなどを西部市町村長は申し入れを行った

原発対応など「町の防災計画」で、「原子力災害対策編」の作成も！

勝部　原発関連の三十キロ圏六市二町の連絡会議から伯耆町は、「蚊帳の外」である。

町長の受け止め方は？

町長　単純に区切りの範囲を三十キロ圏とし計画想定するという県などの考えであり、蚊帳の外とは、考えていない。

西部地区の市町村長としても安全対策、モニタリングなどについても県に申し入れをした。

勝部　米子市のように伯耆町としての「原子力防災対策の独自計画を策定すべきではないか。

町長　重要な視点であり、状況をみながら検討する。

太陽光発電パネル（岸本駅前バス待合所）